

天草夕陽八景

天草西海岸地域は、東シナ海に沈む美しい夕陽が見られることから、絶好の夕陽鑑賞スポットとして知られています。

このような中、市では、これらの夕陽を活用して地域振興を図ろうと、同地域から望むことができる多くの夕陽鑑賞スポットの中から、特に優れた8カ所を「天草夕陽八景」として決定しました。

そこで今号では、同八景の概要についてお知らせします。



西平椿公園から望む夕陽

住民参加のワークショップを 開催し決定

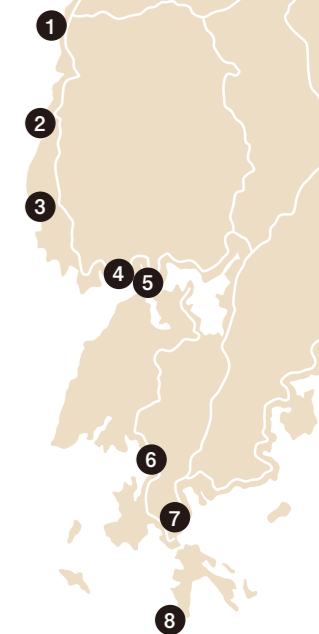
天草夕陽八景の決定については、市と熊本県立大学が共同で、牛深・天草・河浦地区において各地区振興会の役員や地元住民などが参加してワークショップ（研究会）を開催し、参加者からの意見をもとに①安心・安全な場所から眺めることができる②訪れる人に正確な案内情報を提供することができる③トイレや駐車場が整備されている、などに視点を置き、22カ所の候補地を選定しました。

その後、ワークショップの参加者を対象にした全体会において候補地の順位づけを行い、これらを参考にした同大学が八景の場所や名称を市に示し、6月9日、正式に決定したものです。

どうして八景なの？

八景は、風景や景勝などを評価する考え方のひとつで、北宋時代（11世紀：現在の中国）の画家が、同国の瀟湘地域の景勝8カ所を描いた瀟湘八景が始まりであるといわれています。日本においては、これにならって生まれた滋賀県の近江八景や神奈川県の新金沢八景が有名。現在では、優れた景観を選定するときに広く用いられている手法です。

天草夕陽八景マップ



① 下田の夕陽
夕陽ヶ丘、鬼海ヶ浦（天草町下田北）



下田温泉から近い場所にあり、180度の広々とした眺望が魅力です。

② 十三仏公園の夕陽
（天草町高浜）



白鶴浜を見下ろすことができ、白い砂浜を赤く染める風景が見どころ。

⑤ 拝瀬・鳴瀬の夕陽
（河浦町崎津）



羊角湾の周辺や崎津天主堂を散策しながら夕陽が楽しめるスポット。

⑥ 魚貫・黒石の夕陽
（魚貫町）



魚貫海岸や黒石海岸を歩きながら、夕陽を楽しむことができます。

③ 大ヶ瀬の夕陽
西平椿公園、農免道路（天草町大江）



大ヶ瀬の岩場の背後に沈んでいく夕陽を見ることができます。

⑦ 遠見山公園の夕陽
（牛深町）



夕陽が落ちた後は、ハイヤ大橋など牛深の夜景も見ることができます。

④ マリア像の夕陽
（河浦町崎津）



沈む夕陽がマリア像と重なり、ロマンチックな雰囲気を演出。

⑧ 小森海岸の夕陽
（牛深町）



島や炭鉱跡、夕陽の組み合わせが魅力です。

※各選定地について詳しいことは、①③⑤：天草支所・総務市民課 ☎11111、④⑥⑧：河浦支所・総務市民課 ☎11111、⑦②⑧：牛深支所・総務市民課 ☎21111へお尋ねください。